



自動分析法による 血清ビタミンB₁₂測定値の標準化に関する 日本臨床化学会栄養専門委員会の見解： SRM 1955を参照物質に用いた測定

日本臨床化学会栄養専門委員会

([血中ビタミンB₁₂と葉酸の測定法と基準値(参考値)の検討] プロジェクト)

涓原 博¹, 渡邊敏明², 橋詰直孝³, 戸谷誠之⁴, 上岡千介⁵, 恩田きみ子⁵,
砂原誠司⁵, 鈴木智子⁶, 板橋光春⁶, 青木芳和⁷, 石橋みどり⁸, 伊藤昭三⁹,
大橋鉦二¹⁰, 榎本 毅¹¹, 斎藤憲祐¹², 佐伯かよ子⁹, 長村洋一¹³,
登 勉¹⁴, 廣田晃一¹⁵, 藤代欣也¹⁶, 前川真人¹⁷, 三浦雅一¹⁸, 柿木孝志¹,
石井ともみ¹⁹, 渡邊正一²⁰, 太田好次²¹

¹東邦大学医療センター大橋病院臨床検査部, ²兵庫県立大学環境人間学部食環境解析学研究室,

³和洋女子大学家政学群生活科学系, ⁴昭和女子大学大学院, ⁵三菱化学メディエンス株式会社,

⁶株式会社エスアールエル, ⁷株式会社メコム, ⁸慶應義塾大学病院中央臨床検査部,

⁹東京文化短期大学臨床検査学科, ¹⁰藤田保健衛生大学医療科学部臨床検査学科,

¹¹ニッターボーメディカル株式会社, ¹²シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社,

¹³鈴鹿医療科学大学保健衛生学部, ¹⁴三重大学大学院医学系研究科病態解明医学講座,

¹⁵国立健康・栄養研究所情報センター, ¹⁶協和メデックス株式会社,

¹⁷浜松医科大学医学部医学科臨床検査医学, ¹⁸北陸大学薬学部臨床化学教室,

¹⁹ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社, ²⁰バックマン・コールター株式会社,

²¹藤田保健衛生大学医学部化学教室

Comment on standardization for the assay values of serum vitamin B₁₂ as measured by automated analysis: Measurements using SRM 1955 as a reference material

Committee on Nutrition, Japan Society of Clinical Chemistry

Hiroshi Ihara¹, Toshiaki Watanabe², Naotaka Hashizume³, Masayuki Totani⁴,

Kazuyuki Kamioka⁵, Kimiko Onda⁵, Satoshi Sunahara⁵, Tomoko Suzuki⁶,

Mitsuharu Itabashi⁶, Yoshikazu Aoki⁷, Midori Ishibashi⁸, Shozo Ito⁹, Koji Ohashi¹⁰,

Tsuyoshi Enomoto¹¹, Kensuke Saito¹², Kayoko Saeki⁹, Yoichi Nagamura¹³,

Tsutomu Nobori¹⁴, Kouichi Hirota¹⁵, Kinya Fujishiro¹⁶, Masato Maekawa¹⁷,

Masakazu Miura¹⁸, Takashi Kakinoki¹, Tomomi Ishii¹⁹, Masakazu Watanabe²⁰, Yoshiji Ohta²¹

Key words : 血清ビタミンB₁₂, 標準化, 世界保健機関 (WHO), 自動分析法, NIST SRM